

令和4年 第116回多可町議会定例会 一般質問

(1日目) 9月20日(火) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
1	大山由郎	介護に疲れた家族を救え	町長
2	市位裕文	多可町からオリンピック選手を	町長
3	藤本一昭	若い世代の結婚から定住と将来人口対策は	町長
		現在の中央公園周辺一帯の総合計画が必要	町長
		児童のランドセル、生徒のカバンの軽量化は	教育長
4	廣畑幸子	「緊急通報システム」の現状と今後の対応	町長
		「こどもの視力」の現状把握と対策は	教育長
5	門脇教蔵	加齢性難聴に関わる補聴器の購入補助について	町長
		死亡時における事務手続きについて	町長
6	橋尾哲夫	日本クアオルト協議会大会を機に全国に観光と健康増進の町をアピールせよ	町長
		八千代区大和地区から加西市河内集落に通じる道路(トンネル)建設について	町長
		全国学力テストの結果、児童の学力は	教育長
7	内橋志郎	さらに前へ、子育てするならダントツ多可町	教育長
		健康寿命の延伸をはかれ	町長

(2日目) 9月21日(水) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
8	清水俊博	「無園児、無縁児」根絶に全力を!	教育長
		「多可町産山田錦」をテロワールで日本遺産に!	町長
		老人会、今後共に地域課題を解決する重要なパートナーとして!	町長
9	足立吉継	豊部地内の通学路の安全は守られているか	教育長
		10年先の教育環境のために	教育長
10	門脇保文	多可町集落の位置づけ 多可町の集落は一定の規約が必要	町長
		子育て世帯の生活困窮への対応「ゆりかご基金」の創設	町長
		多可町中町中学校統廃合について 不登校生徒出現率は全国平均よりも高い	教育長
11	藤原清勝	多可町内各世帯への物価高騰対策について	町長
		森林の町、多可町ならではの木製スケートパークを建設し、スケボーのメッカ多可町を目指すべき	町長
12	日原茂樹	サイクルツーリズムに取り組み	町長
		学校のセキュリティ対策は万全か	教育長

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 大山 由郎

受 領 日	番号
令和 4年 8月 26日 午前 午後 8時 30分	1

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 介護に疲れた家族を救え	町長
別紙にて	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

高齢化の進行スピードが速い我が国は、高齢者の増加に伴い介護を必要とした要介護者も増加している。そのため、2000年に介護が必要な高齢者を「社会全体で支える」という理念で公的介護保険が創設された。

しかし、在宅医療が推進されていることもあり、家族が主体となって介護をする在宅介護が増えている。常に要介護者と向き合う家族は日々の介護に疲れ、介護うつ・高齢者虐待などの問題も発生している。したがって、家族だけでなく社会全体で要介護者を支えるように体制を整えていく必要がある。

1. 介護難民 — 介護難民とは、介護が必要な「要介護者」に認定されているにも関わらず、施設に入所できないだけでなく、家族においても適切な介護サービスを受けられない65歳以上の高齢者を指す。介護難民が増える理由をどう考えるか。またその、解決策はどうか。
2. 老々介護・認認介護 — 老老介護とは、高齢の夫婦での介護、高齢の兄弟姉妹間での介護などが該当する。一方、認認介護は、介護する人と介護される人の双方が認知症を発症しているケースだが、町内の実態の把握はできているか。
3. 高齢者の虐待問題 — 家庭、あるいは介護施設において高齢者が虐待を受けるといった報道（現実）もあり、全国的に大きな問題となっている。「高齢者の虐待防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行されているが、その後も虐待が続いているという全国調査結果を踏まえた多可町の対策は。
4. 高齢者の一人暮らし — 高齢者の一人暮らしで大きな問題になるのが「認知症」と「孤独死」である。認知症になると、一人で日常生活を営むことが困難になる。また、近隣住民とのトラブル、家事・事故など命に係わる事態に巻き込まれる危険性もある。「孤独死は人間の尊厳を損なうと同時に、家族や親族、近隣住民などに衝撃や経済的負担を与える」として、厚生労働省も孤独死を防ぐ対応の必要性を訴えている。上記について多可町の対応は。
5. 地域づくり — 認知症施策を推進するため、国は2019年6月に「認知症施策推進大綱」を取りまとめた。

大綱では、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指すことや、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」予防の取り組みを政府が進めることが示されている。

多可町では、認知症の人が交流できる「絆カフェ（認知症カフェ）」の運営や認知症の人に向けたサポート事業、認知症サポーターの養成など、認知症の人に向けたサービスと認知症の理解促進に取り組んできた。引き続き、認知症に関する相談体制の充実や認知症初期の人への支援などに取り組んでいく必要がある。また、認知症に対する施策として、町民へ認知症の理解促進、相談体制の充実、適切なサービスの利用促進、それらを支える関係者の体制づくりにも取り組むべきだ。

そして、認知症の人や家族が相談できる体制を充実するとともに、認知症初期の人が早期に相談できるよう、町民全体に認知症の理解を促すことが必要だ。また、相談後に適切なサービスを利用できるようにすること、それらを安定するための体制づくりが必要だ。

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 市位 裕文

受 領 日	番号
令和 4 年 8 月 2 6 日 午前 <u>午後</u> 0 時 5 7 分	<u>2</u>

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
多可町からオリンピック選手を	町長
<p>最近のテレビ報道を見ていると、読売ジャイアンツの翁田大勢選手の活躍が目につきます。郷土の誇りにさえ思えます。</p> <p>そんな折、多可町にはスケートボードをされる方が多いと知りました。ただ練習場所の確保に大変な苦勞されていることも同時に知りました。</p> <p>近隣には、三木と福崎にリンクがあると知り、視察にいきました。三木では岡山から練習に来ていると聞き、びっくりでした。福崎では中高生の方が練習されていました。担当者にお聞きすると需要はあると聞き、改修もされ、年会費 2000～3000 円で登録制にされるそうです。現在は無料でされており、経費は年間 70 万程度の草刈り費で済むらしいです。</p> <p>やはりかなりの要望があり、署名活動があり、丁度のスペースもあり完成となったみたいですね。今回の要望をお聞きした方も、子どもさんに押されての話らしいです。</p> <p>多可町を考えると、余暇村公園が思い浮かびましたが、エーデルささゆり周辺ガルテン八千代、など恰好な場所は沢山あります。一気に無理でも、徐々に前向きになれば完成は可能ではないかと考えます。</p> <p>多可町がその気になれば、賛同者も集まり気運の醸成は可能と考えます。</p> <p>「多可町からオリンピック選手」を合言葉に前向きに考えるべきだと思いますが、町長の考えをお聞きします。</p> <p>建設経費、ランニングコスト、需要、など問題も多々ありますが、未来に向けた投資です。</p> <p>この考えは以前にも、ほかの議員にも要望があったと知り、意を強く持ちました。</p> <p>今回またほかの同僚議員の質問もあるそうです。</p>	

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 藤本 一昭

受 領 日	番号
令和 4 年 8 月 2 9 日	3
午前・午後 8 時 3 0 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 若い世代の結婚から定住と将来人口対策は	町長
<p>日本の将来人口が減少することは予測がなされています。多可町の今後の人口を予測統計通りに推移していくものと考えていますが、人口の構成で逆ピラミッドになっています。当然高齢者の皆様は、長寿で安穩に生活されることを求めることは当然ですが、課題は、働き盛りの中堅・若者世代の人口増加が図れることが求められています。具体的に多可町に結婚して生活する世帯が増加できるように積極的な施策が重要と考えますが町長の見解を求めます。</p>	
2. 現在の中央公園周辺一帯の総合計画が必要	町長
<p>中央公園の一帯は、今後の生涯学習まちづくりプラザや統合中学校の建設整備がなされています。現在は町所有地に計画されていますが、完成時点では、かなり窮屈な施設になることは必至であります。今回の計画は町有地であり用地取得費用が不要であり計画的に進むと考えます。しかしながら、将来の利用上の展開を考えますと新たに土地の取得が必要です。今後の検討課題として道の駅を含めた計画地域の活用の為にも、緑地と駐車場などの用地確保が必要であると考えますが見解を求めます。</p>	
3. 児童のランドセル、生徒のカバンの軽量化は	教育長
<p>近年の児童のランドセル、生徒のカバンの軽量化が求められています。教科書のボリュームの増加と A 4 版化サイズにより重い傾向があります。その上、自宅での宿題などもタブレットの活用となってきました。当然ながら子供の水筒は自宅から持ってきています。さまざまなことから、児童生徒の持ち物は数も多くなり重量も増えていく傾向にあります。今後の児童生徒のランドセル及びカバンの軽量化が求められています。教育長の見解を求めます。</p>	

質 問 の 内 容

1. 若い世代の結婚から定住と将来人口対策は

日本の将来人口が減少することは予測がなされています。多可町の今後の人口を予測統計通りに推移していくものと考えていますが、人口の構成で逆ピラミッドになっています。

当然高齢者の皆様は、長寿で安穩に生活されることを求めることは当然です。今回の質問は、働き盛りの中堅・若者世代の人口増加が図れることが求められています。

近年の出生数は、60人台から80人台の出生が届けられています。そのことを受け止めてこれからの課題を考えていかなければなりません。

婚姻による出生者は、97%が嫡出子であると伺っています。その上、さらに検証すると1年間に多可町に婚姻届を提出して、町内に居住している状況の報告をいただきました。去年は、婚姻届では27組で、内16組が町内に定住されたと報告を受けています。

つまり、少子化対策の肝は、結婚していただいて多可町に居住してもらえ環境を確保することが求められていることと考えられます。

今後として、具体的に多可町に結婚して生活する世帯が増加できるように、有効で積極的な施策が重要であります。

例として、賃貸マンションの建設奨励と公営民営住宅の家賃補助、結婚奨励金制度などの制度の強化への町長の見解を求めます。

2. 現在の中央公園一帯の総合計画が必要

中区の中央公園の一帯は、計画の「生涯学習まちづくりプラザ」や「統合中学校」の建設整備がなされています。「子ども子育て・学びと健康のエリア」と位置づけており、現在の計画は、町所有地に計画されていますが、4年後の完成時点では、想像以上に窮屈な施設になるのではないかと懸念しており必至であると考えます。

今回の計画は、町有地であり用地取得費用が不要であり計画的に進むと考えます。しかしながら、将来の完成した段階で利用上の展開を考えますと新たに土地の取得が必要であるものと考えます。

今後の検討課題として、道の駅「山田錦発祥のまち・多可」を含めた土地利用計画が求められています。この地域の活用の為にも、公園緑地と駐車場などの整備の為に用地確保が必要であると考えますが見解を求めます。

3. 児童のランドセルの軽量化は

近年の児童のランドセルや生徒のカバンの軽量化が求められています。教科書のボリュームの増加とサイズA4版化により重い傾向があります。その上、自宅での宿題などもタブレットの活用が図られています。当然ながら、水分補給のための水筒を自宅から持ってきています。

さまざまなことから、児童の持ち物は数も多くなり重量も増えていく傾向にあります。今後の児童のランドセル、生徒のカバンの軽量化が求められています。置き勉も含めて、教育長の見解を求めます。

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 廣畑 幸子

受 領 日	番号
令和 4 年 8 月 2 9 日	4
午前 (午後) 4 時 2 7 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 「緊急通報システム」の現状と今後の対応	町長
別紙参照	
2. 「こどもの視力」の現状把握と対策は	教育長
別紙参照	
3.	

質 問 の 内 容

1. 「緊急通報システム」の現状と今後の対応についてお聞きします。

緊急通報システムとは、事業名は「緊急通報装置貸与事業」と言い、日常生活の中で常に注意を必要とする方に対して、緊急時の連絡や健康相談ができる装置を貸与するものです。

利用できる方は、おおむね 65 歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯そして一人暮らしの重度身体障害者が対象となっています。

固定電話のある方はこのシステムの利用料は、月 1 8 7 0 円かかるのですが、町が負担していますので、無料でご利用いただいています。

しかし、昨今固定電話が家に無く、携帯電話だけ、これは若い人たちの話だけではなく、高齢者の方も少なからずいらっしゃるようです。

そのような方たちも、システムを利用できないかの希望があれば、利用できるようにして欲しいと言う意見は以前からありました。そこで、町はそういう方たちにも対応できるように、令和 4 年 4 月から固定電話がない方へのシステム利用を開始しました。ただ固定電話がなく、携帯電話などでシステムを使おうとすると、利用者負担が 1 ヶ月 1 1 0 0 円、年間では 1 3 2 0 0 円が必要となります。

現在の利用は、中区 4 5 台、加美区 3 2 台、八千代区 2 0 台の合計 9 7 台で、固定電話がある方ばかりです。

固定電話のない方からの問い合わせもあったようですが、個人負担があることが理由なのか、利用に踏み切れなかったようです。

そこでお聞きします。

現在緊急通報システムの活用状況はどのようになっていますか。

固定電話がない方でシステムの利用をご希望される数の想定はされていますか。利用したいからと言って全ての方が利用できるわけではありません。しかし、現在の利用が 9 7 台ということから、希望される数はあまり多くはないと思います。高齢者の方の安全安心に繋がるものです。固定電話が無い方の自己負担分も、町でみませんか。

次に「こどもの視力の現状把握と対策は」をお聞きします。

先日、視力 1.0 未満の中学生が、過去最多の 60.28% という文科省の発表がありました。これは裸眼視力での結果でした。

そういえばお母さんが、こどもが眼鏡をかけるようになったとか、目が悪くなって心配などを言われていたのを思い出し、気になったので、多可町ではど

うような状況なのか調べてみました。

ただ、多可町では、眼鏡・コンタクト着用後の数値なので、裸眼での状態の数値は分からないのですが、それでも、1.0未満の子どもたちは、小学校全体では児童 819 人中 232 人で 28%、中学校全体では生徒 462 人中 223 人 49%いました。その中で 0.7 未満の子どもたち、小学校は 140 人で 17%、中学校では、127 人で 28%いました。

先ほども言いましたとおり、眼鏡やコンタクトを装着しての検診なので、実際はもっと多い数字また%だろうと思います。

現在、小・中学校の子どもたちは、一人1台タブレットを持ち、学習に役立っています。とても便利なものでもあり、コロナ禍でもタブレットがあるおかげで、家にいても授業を受けられたこともありました。

しかし、タブレットだけでなく、スマートフォンを使っている子どももいると思います。電子機器は今の時代欠かせないものではありますが、気をつけなければならないことも多いと思います。

そこでお聞きします。

現在の子どもの視力の状況をどのように受け止めていますか。

育ち盛りの子どもたちです。目を大切にすることはとても大事なことです。タブレットを使う上で、どのようなことに気をつけなければいけないかをどのように指導していますか。

タブレットもブルーライトが出ていると思いますが、その対処はどのようにしていますか。

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 門脇 教蔵

受 領 日	番号
令和 4 年 9 月 1 日 午前・午後 10 時 15 分	5

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
-----------	---------

1. 加齢性難聴に関わる補聴器の購入補助について

町長

多可町は、まさに高齢化社会となっています。年を取ると、耳が聞こえなくなる。よく耳にすることであります。近くの 70 代の男性の方が、講演会を聞きに行ったとき、よく聞こえなくてショックを受けた。また、80 代の方も、電話をかけるのが嫌になった。60 代の女性の方も、聞き間違えで相手の話を誤解してしまう。誤解したくないので話をしたくないなど、不便な思いをしている人がたくさんおられます。難聴は高齢者にとって、最も一般的な身体機能の低下の一つであります。認知症の修正可能なリスク軽減の一つに難聴が挙げられ、難聴が認知症の原因になっていると指摘されています。

そこで、お伺いいたします。多可町で、認知症予防のための高齢の生活を支援し、社会参加を促進するための補聴器購入助成する考えはないか、お伺いいたします。

2. 死亡時における事務手続きについて

町長

ご遺族は悲しみに浸る間もなく、様々な手続きを行わなくてはなりません。申請書の種類や関係窓口の数も多く、大変であります。ご遺族にとって手続きそのものの負担だけでなく、心の負担とも考えます。そのような負担を軽減できないものかと考えられたのが、今回提案いたします「おくやみコーナー」であります。現在、全国的にも「おくやみコーナー」を開設して、ご遺族の悲しみに寄り添い、一括ワンストップで手続きを進めるサービスが実施されています。当町でも実施できないでしょうか。

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 橋尾 哲夫

受 領 日	番号
令和 4 年 9 月 2 日 午前 午後 1 時 1 分	6

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 日本クアオルト協議会大会を機に全国に観光と健康増進の町をアピールせよ	町長
<p>第 7 回日本クアオルト協議会大会は 9 月 2 9 日、3 0 日の 2 日間、多可町で開始されます。ベルディーホールでは講演等でテーマ「生活スタイルの変化と健康づくり」です。2 日目の現地研修はエーデルささゆりガルデンコース（クアの道認定コース）の 2 か所です。この機会に全ハイキングコースを点検すべきです。特に、八千代区では光竜寺山城コースの整備が必要です。頂上には簡易ベンチがあるだけです。雨や雷の避難所がありません。また、雑木で見晴らしが悪く間伐が必要です。町長の答弁を求めます。</p>	
2, 八千代区大和地区から加西市河内集落に通じる道路（トンネル）建設について	町長
<p>北播磨ハイランド・ふるさと街道では、国道 4 2 7 号豊部工区は完成し、本年 6 月 4 日開通式典が行われました。</p> <p>県道加美八千代線は（三室バイパス）は令和 4 年度に新規事業化されました。北播磨ハイランド・ふるさと街道に大和地区柳山寺集落原から加西市河内集落に通じる新道路（トンネル）を追加し、町として必要な道路であることを県に早期に要望すべきです。町長の答弁を求めます。</p>	
3. 全国学力テストの結果、児童の学力は	教育長
<p>全国学力テストが 4 月 1 9 に実施され、文部科学省は 7 月 2 8 日にテストの結果を公表しました。対象者は小学生 6 年生と中学校 3 年生、学科は国語、算数、理科の 3 科目です。多可町の児童生徒の成績結果は。</p> <p>小・中学生 3 科目全てが全国平均を下回っています。学校関係者は学力向上策に取り組まれています。が、昨年は全国平均を超えていました。関係者の努力は十分理解できますが結果をみれば、今後子どもたちの教育を考えると学力に不安を感じます。教育長の答弁を求めます。</p>	

質 問 の 内 容

1 本年7月2日(土)北はりま田園空間博物館主催のでんくう歴史探訪第2弾(在田氏の城下を巡る)定員20名に参加しました。

所要時間6時間で光竜寺山上跡に登りました。

参加者から山上からの景色が雑木等で隠れ見えないのが断念ですとのコメントでした。ガイド案内の方も行政側に要望願いたいとの依頼がありました。

私自身参加し見えにくいと実感しました。

ハイカーの気持ちになってコース整備する必要があると感じました。

自然に恵まれた多可町を歩こう。エーデルささゆり周辺など11コースをホームページで紹介されています。11コース全てがクアの道認定になっていますか。

2 新しい道路建設には10年から20年以上かかります。

三室バイパスが終われば町として次の道路工事予定、原から加西市河内集落に通じる道路です。

3 令和3年度昨年の全国学力テストは小学生6年生国語、算数において、全国平均正答率と比較が100%を超え目標達成がなされた。多可町学力向上推進委員会が機能しています。学力向上事業A(目標を上回った)です。

本年令和4年度の結果は小学生6年生国語94.5%、算数98.1%で全校平均100%より下回っています。

中学生3年生国語92.8%、算数93.4%で全国平均より下回っています。

3年連続全国平均を下回っています。

学力向上策は如何に。

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 内橋 志郎

受 領 日	番号
令和 4 年 9 月 5 日 午前・午後 8 時 3 0 分	7

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. さらに前へ、子育てするならダントツ多可町	教育長
<p>①核家族化が進み、地域の関係性も薄まり、昔のように悩みを相談できる人が身近にいません。「孤立感の解消」のため、孤立させないようなシステムはどうですか。</p> <p>②富田林市の放置死事件が6月にありました。保育園、幼稚園に通っていない子ども「無園児」孤立防止へどのような手立てをされていますか。</p> <p>③ひとり親世帯は深刻。必要な食料を買えぬ経験3割と内閣府は全国調査した報告書を公表しました。ひとり親世帯の深刻度を把握されていますか。</p>	
2. 健康寿命の延伸をはかれ	町長
<p>多可町は、第4次健康増進計画等を策定され、健康寿命延伸の重要性では、全国や兵庫県と比較して要介護認定者の割合が高くなっているため、若い頃からの健康づくりの推進や疾病の予防に努め、早い段階からの介護予防・認知症予防などに取り組んでいく必要があると謳われています。県によると2015年度、加西市の平均寿命は男性81.2歳、女性87.2歳で全国を上回る。特に健康寿命では、男性79.6歳（全国72.7歳）女性83.7歳（全国75.3歳）です。</p> <p>当町は健康寿命の延伸をどのように図っていきますか。</p>	

質 問 の 内 容

まずは1つ、「さらに前へ、子育てするならダントツ多可町」です。

子育てするならダントツ多可町を吉田町政は掲げられています。多くの可能性を秘めた多可町では、きめ細かく寄り添って、子育てするならダントツ多可町を、さらに前へ進めるため、次の三点について所見を伺います。

まずは1点目です。核家族化が進み、地域の関係性も薄まり、昔のように悩みを相談できる人が、お母さんたちの身近にいません。

当町は、「孤立感の解消」のため、お母さんたちを孤立させないようなシステムをどう図られていますか。

次に2点目です。保育所や幼稚園に通っていない小学校就学前の子ども（0～5歳児）のうち、育児で困難を抱える家庭があります。施設に通わない子どもは「無園児」と呼ばれ、親子が孤立すれば虐待などのリスクが高まるとの指摘があります。

当町では、保育所や幼稚園、認定こども園に通っていない0～5歳児が置かれている環境を把握され、孤立が虐待に繋がらないように、どのような対策をされていますか。

次に3点目です。内閣府は、子ども貧困について初めて全国調査した報告書を公表しました。ひとり親世帯の半数が、生活苦に直面しており、3割以上が過去1年間に必要な食料が買えなかったとしました。中間層と低所得層の間の年収がある「準貧困層」も課題を抱える状況が明らかになりました。

当町は、ひとり親世帯の深刻度を把握され、どのような支援策をとられていますか。

次に、「健康寿命の延伸をはかれ」にいきます。

人生100年時代を迎え、多可町は、第4次健康増進計画等を策定され、健康寿命延伸の重要性のところで、本町では全国や兵庫県と比較して要支援認定者の割合は低いものの、要介護認定者の割合が高くなっているため、若い頃からの健康づくりの推進や疾病の予防に努め、早い段階からの介護予防・認知症予防などに取り組んでいく必要があると謳われています。

県によると2015年度、加西市の平均寿命は男性81.2歳、女性87.2歳で全国を上回り、特に健康寿命では、男性79.6歳（全国72.7歳）女性83.7歳（全国75.3歳）と大きく差をつけています。そして、神戸新聞で「三食欠かさず食べる」「人との会話を楽しむ」と老人クラブ連合会冊子の「健康長寿の道しるべ」を紹介されました。ところで、多可町の平均寿命、

特に健康寿命は如何ですか。

国が取り組む「健康寿命延伸プラン」で 2040 年までに健康寿命を男女共に 75 歳以上することを目標とありますが、当町では健康寿命の延伸をどのように図られていきますか、お伺いたします。

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 清水 俊博

受 領 日	番号
令和 4 年 9 月 8 日 午前 (午後) 2 時 5 7 分	8

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 「無園児、無縁児」根絶に全力を！	教育長
詳細は別紙の通り	
2. 「多可町産山田錦」をテロワールで日本遺産に！	町長
詳細は別紙の通り	
3. 老人会、今後共に地域課題を解決する 重要なパートナーとして！	町長
詳細は別紙の通り	

質問の内容

① 「無園児、無縁児」根絶に全力を！

最近こんな新語を聴くことがあります。「無園児」保育園や幼稚園に通えていない、小学校に上がる前の子どもを指します。地域社会とのつながりを断たれ「無縁」の意味合いも重ねている。＜もうおねがいゆるして ゆるしてください＞虐待を繰り返す両親宛てに、そんなメモ書きを残し4年前に逝った東京の5歳女兒も正に無園児だったそうです。

家庭という名のブラックボックス…その後も、か弱く尊い命が奪われる悲劇は絶えません・親は親で、孤立する「孤(こ)育て」に追い込まれる現状にもあると言えます。虐待する側に陥るのをぎりぎりまで耐えている人、そんな家庭が増加傾向にあるとの報道です。一方少子化でもあり、課題であった待機児童は少し峠を越えたとも伝えられます。その空き施設を居場所に・・・、そんな言葉に出来ないまま、やりきれぬ思いの「無園児や親たち」が町内の身近にいるのかも知れません。以下伺います。①町内の該当児童数は ②対象となる家庭の把握方法はどのように③救済方法はどうか

② 「多可町産山田錦」テロワールで日本遺産に！

日本遺産 (Japan Heritage) とは、日本各地の魅力的な文化・伝統を語る物語「ストーリー」です。単なる有形・無形ではなく「その物語」が重要視されます。わが町の誇る「酒造好適米山田錦」はまさに最適「テロワール」で「日本遺産」に相応しいこと確信いたします。

日本文化を代表するひとつに日本酒があります。この酒のもとになる酒米は、大粒で米の中心の心白と呼ばれる白い不透明な部分が大きいのが特徴でこれを発酵させて酒にするものです。全国でも使用される酒米の約6割に使用され正に酒米の王様「山田錦」でありわが町の発祥であります。

「日本遺産」に最もふさわしいことは申すまでもありません。

山田錦は、酒米のなかでも作りにくい品種で、土づくり、苗の育成、田植え時期の厳守、肥料の改善、病虫害防除、適切な水管理等が要求されます。更には山田錦の背丈は他の稲と比べて格段に高く、湾曲して倒れやすく又、いもち病など、病気にも弱いので適切な栽培を徹底させなければなりません。このような①酒米の最高峰「山田錦」発祥の地

多可町は日本一の酒造好適米「山田錦」の発祥の地です。山田錦の母方「山田穂」を発見したのは中区東安田の豪農・山田勢三郎翁です。正に酒造最好適米「山田錦」の誕生への物語はワインにも負けない見事な「テロワール」と言えます。

日本遺産は、遺跡のほか習慣や伝統モノといった個別の「点」（＝文化財）を生み育んできた「文化そのもの」を結びつけストーリーとして魅力的なパッケージにしたものです。

さらにそれらを国内外に積極的に発信し、地域の活性化やブランド化を進めることが目的になっています。いわばクールジャパン戦略の

ひとつです。 **山田錦物語**

日本遺産認定の基準は、種々ありますが多可町産「山田錦」は日本遺産に最も相応しく、山田勢三郎翁はじめ、本日までご尽力いただいた先人達に応える意味でも是非「チャレンジ」すべきものと確信いたします。 町長の所信を伺います。

③ 老人会、今後共に地域課題を解決する

重要なパートナーとして！

老人クラブ組織活動の根拠は、昭和38年制定「老人福祉法」にあります。「地方公共団体は、老人の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他広く老人が自主的かつ積極的に参加することができる事業を実施するように努めなければならない」とされ、「地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない」と定められており現在、各地区でさまざまな活動が展開されています。

活動に関しては、自主運営に任されていますが、多くは・趣味・文化・芸術・スポーツなどのクラブ活動又、健康づくり・介護予防関連活動を中心に、社会奉仕、リサイクル、地域の高齢者の見守りなどの活動が行われています。

日本の60歳以上人口は3,928万人（平成22年国勢調査）ですから、老人クラブ加入率は約15%です。加入率の多寡や組織力は別にしても老人クラブが国内最大の高齢者団体であることは間違いありません。

今日まで又今後とも、超少子高齢化が進む中においても老人クラブ

の存在、役割は、地域コミュニティを維持する上で極めて重要なポジションであることに疑いはありません。

しかし会員数の減少等もあり活動を継続していくためには、やり方等一定の見直しが必要であることも事実であります。

今後、老人クラブが果たすべき役割は何なのか「老人福祉法」的根拠も含め今一度、社会的合意形成を図っていく時が来ていると思います。

60才現役の会員ニーズが、地域コミュニティ活動に参画してもらえ
る為、どのようなアプローチが必要か等考えていくことも大切です。

元気な高齢者が他的高齢者を、現役時代に得たノウハウ等を地域に還元するといった制度、仕組み創りもその一つです。60歳からの組織と言っても、60歳と80歳では親子ほどの世代差もあるわけです、活動内容を世代別に分けてみるなども必要なのかもしれませんが。老人クラブは、多くの企業のように上意下達で動く組織ではなく、会員の善意に基づいて成立している組織でもあります。

今後 NPO やボランティア等地域セクターが果たす役割は益々大きくなっていくと思われ
ます。老人クラブは超高齢社会における地域課題を解決する基幹「セクター」として、その果たすべき役割はさらに重要なものとなるに違いありません。 サステナビリティ＝持続可能性

創設された昭和年間の社会情勢とは大きく趣をことにした今日又、将来にむけて「老人クラブとの協働」等自治体としてのその在り方、関わり方について吉田町長のご所見を伺います。

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 足立 吉継

受 領 日	番号
令和 4 年 9 月 9 日 午前・午後 8 時 3 0 分	9

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 豊部地内の通学路の安全は守られているか	教育長
<p>国道 4 2 7 号豊部バイパスの開通に伴い、加美中学校の通学路が 2 学期より変更されています。現状の奥豊部農道方面から豊部に入り、バイパスを横断歩道で渡るルートでは危険であるとの声が学校の先生方や地域の方々から上がっており、登下校の際には危険箇所で見守りもして下さっています。見守りされている方のお話では、時間帯によって一人ではまかないきれない通行量であり、法定速度で通行されている自動車であっても、横断歩道に対する認識不足や自転車の生徒が不慣れな面もあり、ヒヤッとすることもあるとの事でした。実際、私も朝現場にて現状を見させていただきましたが、南北からの車輛、生徒ともに慣れるまでには時間がかかり、また慣れてきた際には重大事故が発生するのではないかと危惧しています。</p> <p>そういう状況もあり学校や地域の方からも要望が上がっています、横断歩道を渡り、旧国道を通るのではなく、バイパス沿いに整備された農作業スペースを通行し、加美プラザ前の信号を渡るルートに変更することを提案します。あくまで道路ではなく農作業スペースであるということは認識しています。現在の通学路選定にあたっては、中学校、教育委員会が県や建設課、加東土木事務所多可事業所などの関係機関と十分に調整していただいたと思うのですが、もう一度再考していただけないでしょうか？事故が起きてからでは遅いのです。子どもたちが安全に通学するために早急な対応を求めます。</p>	
2. 10 年先の教育環境のために	教育長
<p>現在、町内の小中学校の先生方を見ると、年齢構成のバランスが悪く、この先少なくとも 10 年程度、管理職になる人材が不足し、大変厳しい状況を迎えると思います。それに向けてこういった対策をされていますか。また職員の年代別ピラミッドはどうなっていますか。</p>	

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 門脇 保文

受 領 日	番号
令和 4 年 9 月 9 日	10
午前・午後 8 時 3 0 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p>1. 多可町集落の位置づけ 多可町の集落は一定の規約が必要</p>	町長
<p>多可町のある集落では、数軒で集落を維持されています。そのために色々な問題が発生しています。</p> <p>荒れ果てた田畑や水路、橋梁、道路等があります。</p> <p>地域の再生や地域として存続できる人数や戸数が必要であると思います。山や田畑や道路等管理するためにも、村納めによる集落合併や連携が必要であると思います。</p> <p>このような問題がこれから人口減少により多可町集落全体に起こるのではないのでしょうか。どのような対策を検討されているのか。</p>	
<p>2. 子育て世帯の生活困窮への対応 「ゆりかご基金」の創設</p>	町長
<p>子育てに力を入れ、子どもの教育環境を良くするために統廃合する方向で進めていますが、社会の急激な変化により生活困窮者が増えつつある現状に於いて、具体的に一人一人に関わり現状に即した対応をする事が必要であると思うが、今後どのように対処していくのかを問う。</p>	
<p>3. 多可町中学校統廃合について 不登校生徒出現率は全国平均よりも高い</p>	教育長
<p>「中学校に於いては、不登校生徒の出現率が全国平均と比較して高く」と報告を受けましたが、この原因は何処にあるのか。また、いじめ対策に於いても成果が出ているのか。</p> <p>クラス替えにより成果が出るなら、小学校の統廃合を先に行うべきではないか。統廃合により減るのか、増えるのか、何らかのトラブルが起こった時には、その責任は誰がとるのか。</p>	

質 問 の 内 容

1. 多可町集落の位置づけ

多可町の集落は一定の規約が必要

多可町のある集落では、数軒で集落を維持されています。そのために色々な問題が発生しています。荒れ果てた田畑や水路、道路、橋梁等が保全されることがなく現在に至っています。耕作できないために野生の住かになっています。

地域の再生や地域として存続できる人数や戸数が必要であると思います。山や田畑や道路等管理するためにも、「村納め」による集落合併や連携が必要であると思います。

このような問題がこれから人口減少により多可町集落全体に起こるのではないのでしょうか。どのような対策を検討されているのか、町長の所見を求めます。

2. 子育て世帯の生活困窮についての対応

「ゆりかご基金」の創設

子育てに力を入れる多可町。子どもの教育環境を良くするために統廃合する方向で進めていますが、生活困窮者が増えつつある現状に於いて、具体的に一人一人に関わり現状に即した対応をする事が必要であると思います。

子ども達の健康を守るためにも、3食の食事は必要です。子ども達の筋肉は大人と異なり蓄える事ができません。しっかりとした食事をとらすことが健康の基本であり要です。父子・母子家庭に於いてこのような問題が無いか。

今後、「妊娠から3歳児まで援助」や「生活困窮者援助」を通して子ども達が安心して就学期間等を健康と情緒的にも安定した学力向上のために「ゆりかご基金」の創設を求めます。町長の所見を求めます。

3. 多可町中学校統廃合について

「不登校生徒出現率は全国平均よりも高い」と報告を受けましたが、この原因は小学校の延長上の事なのか。それとも中学生になってから増えたのか。

また、いじめ対策に於いても成果が出ていますか。

クラス替えによりいじめや不登校の成果が出るのなら、小学校の統廃合を先に行うべきであろう。思春期に入ってからでは問題が大きくなり大変です。

教職員組合からは小規模学級の方が生徒たち一人ひとりに目を配ることができ、学力向上や問題点の対応策が早く取れることを再三聞かされています。

そもそも教育方針が間違っているのではないか。学力を重視するがために、

人間の根幹の教育が異なった方向に向いているのではないか。

統廃合により不登校やいじめ問題が減るのか、増えるのか。

何らかのトラブルが起こった時には、その責任は誰がとるのか。

不登校やいじめ問題の解決策がない中で中学校の統廃合を急いですべきではないと考えます。教育長の所見を求めます。

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 藤原 清勝

受 領 日	番号
令和 4 年 9 月 9 日	11
午前 午後 8 時 3 0 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 多可町内各世帯への物価高騰対策について	町長
<p>今、多可町独自の対策として、世界情勢やコロナ禍の影響により低迷する地域経済への対応策として、プレミアム付商品券が発売されています。今回もプレミアム率 30%の超お得な商品券です。また、多可町では、コロナ禍に入り始めたころ、町民への緊急経済支援策として、水道料金の基本料を半年間免除する支援もありました。今回のような物価高騰の影響は、町内各家庭に深刻な問題となっているはずです。水道料金の免除や多可町独自の色々な対策が、急がれるべきと考えます。</p>	
2. 森林の町、多可町ならではの木製スケートパークを建設し、スケボーのメッカ多可町を目指すべき。	町長
<p>小野市の屋内倉庫にスケートパークを独自に製作し、営業されていた方がおられます。その方のお話ですと、600人居た会員の3割が西脇市民、2割が多可町民、その他5割が神戸、大阪、姫路、三田市民といった具合。兵庫県中部には人気の高いスケートパークがなく、西脇市民のスケーターや多可町のスケーターの練習場所としてたくさん利用いただいております。やはりスケーターは仕事帰りの夜間に運動の為や、自分の練習のために気軽に寄って遊んで帰りたいものです。そういった意味で兵庫県の中央付近に存在する多可町にスケートパークがあるのはとても意味のある事だと思われます。また、全天候型の屋内等の場合は木材で作成する方が良いと思われます。多可町は木材もたくさん取り扱っていると思いますので、その消費場所にもなりますし、木材で作成すれば、半年に1度などセクションの変更が可能になります。やはり毎回同じ場所で滑るよりも定期的にセクション変更した方が、お客様のリピートにもつながりますし、満足度向上にもつながります。変更できる方がイベントにも柔軟に対応できますので、すべてを1度作ってしまったら終わりのパークではなくて、地元の木材を使った定期的に変更可能なパークが最高のパークです。ぜひ検討すべきと考えます。</p>	

一般質問通告書

【第 116 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 日原 茂樹

受 領 日	番号
令和 4 年 9 月 9 日 午前・午後 9 時 1 5 分	12

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. サイクルツーリズムに取り組み	町 長
別紙詳細	
2. 学校の情報セキュリティ対策は万全か	教育長
別紙詳細	
3.	

質 問 の 内 容

サイクルツーリズムに取り組み

ここ数年、観光政策の一環としてサイクルツーリズムを取り入れる自治体が増えています。国が進める活用推進の政策に加え、コロナ禍を機に密にならない移動手段として、自転車の価値が改めて注目されるようになりました。

サイクルツーリズムを簡単にいうと自転車を活用した観光です。その中でも自転車に乗ることを目的とするもの、旅行やレジャーが目的で自転車を利用するもの、自転車にまつわるイベントなどに分かれます。訪れた地域を自転車で回することで、ツーリング、グルメ、名所旧跡めぐりから聖地巡礼など、多種多様な旅の目的に対応できます。

国内では、自転車で走る環境がまだまだ十分とは言えないため、こういった自治体の取り組みは、自転車に乗る人にとって大きなメリットです。また、新たな観光資源を発掘することができます。

今まではメジャーな観光地ばかり注目されていましたが、自転車で特定の道を走ることによって、今まで注目されてこなかったものにスポットを当てることができるのです。サイクリングでお腹がすけば、現地のグルメを食べてもらうこともできます。それだけではなく、サイクルツーリズムを活用すると、町全体のブランディングにもなります。

多可町にも観光できる場所はたくさんあります。道の駅「杉原紙の里・たか」、ラベンダーパーク多可、余暇村公園、翠明湖、マイスター工房八千代、エーデルささゆりなどをつないだコースは多可町の魅力、観光と食を伝える素晴らしいサイクリングルートになると考えられます。

政府は日本を観光立国として盛り上げるため、サイクルツーリズムを積極的に推進しています。2016年の国会での「自転車活用推進法」成立を機に、国土交通省も「自転車を活用した観光地域づくり」は有望な体験型観光であるとして、各自治体や施設への積極的なサポートを約束しています。

健康や環境面からも自転車による適度な運動が、健康維持やストレス発散に効果的なことはよく知られています。体力に自信のない人でも自分のペースで楽に移動ができる一方、相応のカロリーも消費されるため、地元での食事を堪能したい方にも最適です。

また、自転車は排気ガスを出さないのも、車での移動に比べ環境にも優しく、交通渋滞を起こしにくいいため地域への負荷が少ないのは大きな利点です。

サイクルツーリズムは、地域社会がそれまで何の関心も持っていなかったものが、新たに観光資源として価値を見出されるきっかけにもなります。のどか

な風景や自然の中で走るのが楽しいというサイクルツーリズムならではの特性を活かすことで、町の魅力が見直され、新しい価値の再発見にも繋がります。

交流人口が増え、地元地域に親しみを持ってもらえ、地元の飲食店や商店などの発展につながり、自転車で走りやすい環境を整えることで、地元住民にも暮らしやすいまちづくりになるなど地域活性化に繋がります。

地方創生が叫ばれる中で、サイクルツーリズムは多可町を盛り上げる一手になる可能性を秘めています。町長の所見を伺います。

学校の情報セキュリティ対策は万全か

学校教育の現場では、児童生徒はもちろん、その保護者など多数の関係者の個人情報を取り扱っています。例えば、児童生徒の指導要録、生徒指導の記録、健康診断の結果、あるいは保護者の住所、連絡先など多種多様な情報です。

多くの個人情報を取り扱っているため、情報漏洩を防ぐ必要があります。これらの情報が万一にでも紛失したり、漏洩したりする事態になれば、社会的信頼を失うだけでなく、損害賠償請求に発展する可能性もあります。

教育機関は企業などに比べてセキュリティ対策が遅れているので、情報漏洩が起きやすいのではと思います。現状、教員は基本的に学校で業務を行いますが、時間外労働の概念が希薄なため、自宅に持ち帰って業務を行うことが常態化している背景もあり、情報の紛失・漏洩事故が後を絶ちません。

2022年3月には仙台市の市立小学校において、1クラス32名分の通信表の所見の下書きデータが保存されたUSBメモリを紛失する事案が発生しました。同じく3月に北九州市の市立小学校に勤務する教諭が生徒の個人情報を記録したUSBメモリを紛失したと明らかにしました。6月には埼玉県所沢市の市立小学校の20代教諭が児童65人分の名前や学力状況などのデータを保存したUSBメモリを紛失したと発表しています。教育現場ではありませんが、尼崎市で全市民約46万人の個人情報が入ったUSBメモリが紛失した問題は記憶に新しいところです。このように教員によるUSBメモリの紛失事案は毎月のように発生しています。

教育機関にはほとんどの場合、情報セキュリティの専門家がいません。パソコンに詳しい先生などが対応しているくらいです。これで児童生徒たちの大切な個人情報が守れるのでしょうか。

教育現場では、通常の授業の他に部活動などの課外活動、保護者の要望への対応、教育委員会等への報告など教員にかかる負担増が問題となっています。そういった中で、個人情報の管理など情報セキュリティ業務にまで携わること

は非常に無理があると言わざるをえません。

しかし、教育機関のセキュリティ環境が維持できない理由とはなりません。学校が抱える生徒や教員の個人情報、厳重に保護されるべきものです。

個人情報等の校外への持ち出し原則禁止の再度学校内で周知徹底や情報セキュリティ対策基準の改訂、情報セキュリティ研修を実施していますが、これで十分でしょうか。多くの個人情報を取り扱っているにも関わらず、セキュリティ対策が遅れているため、情報漏洩が起きやすくなっています。

多可町では今後、USB メモリ紛失や個人情報の漏洩を防ぐために、しっかりと対策していくことが必要ですが、どのように取り組んでいくのですか。

教育長の所見を伺います。